



# 稚内市バイオマス産業都市構想の概要 ～人と地球にやさしいまち わっかない～



## 稚内市の概要

- ・人口：36,380人、世帯数：16,486世帯(平成27年度)
- ・酪農(平成28年度)  
乳牛飼養頭数：12,145頭、農協生産物販売額：6,022百万円  
1戸当たりの乳牛飼養頭数：97頭
- ・水産(平成28年度)  
水揚高数量：48,774t、水揚高金額：14,798百万円

## バイオマスの高度利用

- ①バイオガスプラントプロジェクト  
乳牛ふん尿、水産加工残渣の高度処理  
・増幌地区(380kW、経産牛1,300頭規模)  
・勇知地区(380kW、経産牛1,600頭規模)
- ②下水汚泥(未利用バイオマス)の燃料化  
・焼却埋立処理している下水汚泥のペレット燃料化(民間事業)

## 地域波及効果

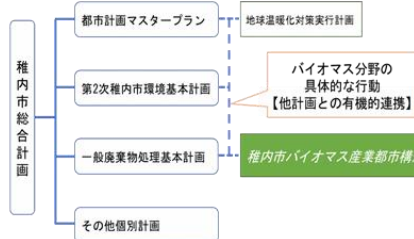
- ①経済波及効果：572百万円  
(北海道産業連関分析シートによる試算)
- ②新規雇用者数：47人
- ③化石燃料代替量  
電気：6.020MWh/年、熱：12,426GJ/年
- ④エネルギー自給率  
電気：2.76%、熱：2.09%
- ⑤二酸化炭素排出削減量：3,353t-CO<sub>2</sub>/年

## 目指すべき将来像と本構想の位置づけ

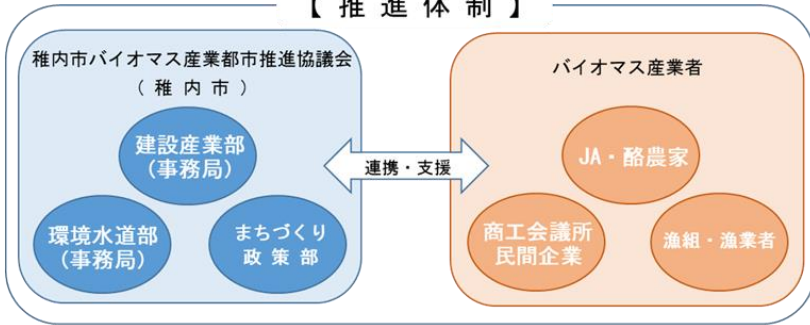
～人と地球にやさしいまち わっかない～

### 5つの基本目標

- ① 低炭素社会の実現
- ② 循環型社会の形成
- ③ 生活環境の保全
- ④ 自然環境の保全
- ⑤ 人口減少の克服



## 【推進体制】



	フェーズⅠ (既存事業)	フェーズⅡ (計画中)	フェーズⅢ (今後予定・可能性のある事業)
公共事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バイオエネルギーセンターバイオガスプラント(生ごみ・下水汚泥等)</li> </ul> <p>バイオエネルギーセンター(200 kW) ・生ごみ1,647t/年 ・廃食油12t/年 ・動植物性残渣221t/年 ・下水汚泥2,362t/年</p>		
JA・農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沼川地区TMRセンターバイオガスプラント(乳牛ふん尿)</li> </ul> <p>沼川地区(300 kW) ふん尿28,400t/年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 増幌地区バイオガスプラント(乳牛ふん尿・水産加工残渣)</li> </ul> <p>増幌地区(380 kW) ・ふん尿30,800t/年 ・水産加工残渣</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勇知地区バイオガスプラント(乳牛ふん尿・水産加工残渣)</li> <li>● 沼川地区TMRセンタープラント事業拡大(乳牛ふん尿)</li> </ul> <p>勇知地区(380 kW) ・ふん尿37,900t/年 ・水産加工残渣</p>
民間事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宿泊施設木質ボイラー(建設廃材)</li> </ul> <p>建設廃材</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 下水汚泥ペレット燃料化施設(下水汚泥)</li> <li>● 宿泊施設木質ボイラー(建設廃材)</li> </ul> <p>下水汚泥2,000 t/年</p>